



ほなみ

山形市立金井小学校
学校だより 第7号
R元 . 10 . 18 発行
校長：佐藤 昌彦
児童数 835名
(10月1日現在)

読書の秋

音読のすすめ

10月3日に、北海道大学の守屋先生に来校いただき朗読の授業を見せていただきました。また、10月7日には、6年3組で、宮沢賢治作「やまなし」の朗読に取り組む研究授業がありました。この2つの授業を通して、文章を声に出して読むことについて様々考えることができました。



声に出して読むことを授業では、大きく「音読」と「朗読」に分けて考えています。

- 「音読」は、内容をよりよく理解することが目的で、自分のために読むこと（理解）
- 「朗読」は、内容をよりよく伝えることが目的で、聞き手のために読むこと（表現）として整理されています。今回の学習会を通して、新たに、「言葉（表現）と出会う」ために読むということについて学びました。黙読では、何気なく読み進めている言葉や表現も、声に出してみることで、読み方を考えることで、自分の中で生き生きとしてくる。声に出して読むことには、こうした可能性も秘めていることを学びました。

さて、文章を声に出して読むことには、もっとたくさんのよさがあるようです。そのいくつかを紹介したいと思います。

- ① 音読中は、脳の「前頭前野」が活性化することでアイデアが浮かびやすくなる
- ② 声に出さないときに比べて音読した方が、20～30%も記憶が増加する
- ③ 音読が、脳のウォーミングアップになって、普段以上の力が発揮できる

音読をすると、すらすら読めるようになるというだけでなく、様々な効果が期待できるようです。金井小学校でも、音読カードや詩の暗唱などに取り組んでいますが、そのよさを見直し、より大切にしていきたいと感じました。



読む文章は、どのようなものでもいいようですが、教科書以外にも、図書館から借りた本や絵本、高学年では新聞記事やコラムなどに挑戦してみるのもいいようです。特に、新聞は毎日新しい情報が載せられているので新鮮で、音読の習慣化や脳の活性化にとっても効果的だそう。また、普段使わない難しい言葉も声に出すことで理解しやすくなりますし、慣れない言葉を試してみることも、脳を刺激してくれるようです。一日10分の音読タイム、是非、日常の生活に取り入れてみてはどうでしょうか。



ほなみ水田 稲刈り

稲穂がみな頭こうべを垂れて、実りの時を知らせてくれました。9月30日(晴)自分たちで田植えをした「ほなみ水田」の稲刈りを5年生が行いました。保護者協力者の方からもご支援いただき、4時間程で全て刈り上げ、稲杭に干すことができました。現在、斎藤先生が精米してくださっています。



斎藤先生から、「天日で乾かした米は、機械乾燥よりおいしいこと」「今年は暑すぎる時期があったので、米の中に白い部分ができるかもしれないこと」など教えていただきました。おいしくなるのも、うまく育たないのも、お天気、自然の力と密接に関わっていることを強く感じました。

ここ数年の風水害なども含め、私たちは自然や天候とどのように向き合っていけばいいのか、また、環境をいかに守っていくのか、こうした体験を貴重な機会として真剣に考えていきたいと思いました。



音楽祭 音楽 ほなみフェスタ

10月24日、4年生が市民合同音楽祭に参加し、『いつだって』と『地球星歌～笑顔のために～』の2曲を歌ってきます。また、27日の金井ふれあい広場では、童太鼓と金管バンドが演奏いたします(金管バンドは30日の市吹奏楽発表会にも参加)。

それぞれに、心をそろえ積み上げてきた練習の成果を音色にのせて披露いたします。これらの取組は、11月1日の創立記念式(第二部)や8日のほなみフェスタで、地域の方にもお聴きいただく機会を設けました。是非、足をお運びください。

～ 音楽を通した学びから ～

10月15日に、6年生が金井中3年生の合唱コンクールに向けた学習を参観してきました。「真剣な姿」「気持ちの切り替え」「主体的な練習」など、自分たちの合唱をより良くしようと真剣に取り組む先輩方の姿から、多くのことを感じ取ることができたようです。この学びを、自分たちの学びにしっかり生かしてくれるのを楽しみにしています。

【11月の学校行事・PTA活動・地域行事】

- 1日(金) 創立119周年記念式(金管バンド・太鼓クラブ発表)
- 2日(土) 文化の日 JA祭り(太鼓クラブ参加)
- 8日(金) ほなみフェスタ
- 13日(水) 市小学校教育研究会 14:00 下校
- 19日(火) 5学年 学年行事
- 20日(水) 市小学校理科研究発表会 14:00 下校
- 22日(金) 6学年 学年行事
- 28日(木)～29日(金) 6年修学旅行(東京方面)



山ぎとの
けしきがみえる
五大堂
二年 松岡 希咲

山寺遠足で
一句